

バセドウ病の症状と治療法

『あなたはバセドウ病です』と 診断された 患者さんのために

第2版

監修：公立松任石川中央病院 横山邦彦 先生

病気のことをよく理解して、
あなたにもっとも適した
治療を受けましょう。



『あなたはバセドウ病です』と診断された患

バセドウ病と聞くと、「とても難しい病気？」や「甲状腺って何？」と考えがちですが、病気をよく理解することから治療の第一歩が始まります。

■まず甲状腺とは？

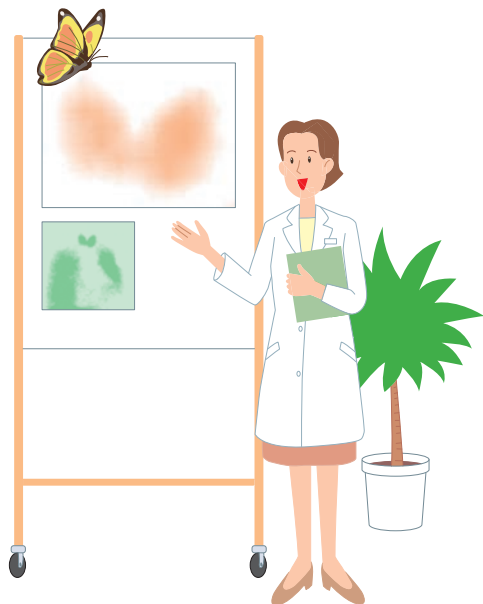
甲状腺は蝶のような形をした小さな臓器で、首のつけね、のどぼとけのやや下にあります。

海藻などの食品に含まれるヨウ素を原料にして甲状腺ホルモンを合成して、分泌します。

■バセドウ病になると・・・

からだの中に甲状腺を刺激する物質ができることが原因でバセドウ病は起こります。甲状腺ホルモンの産生と分泌が多すぎる状態になります。

この状態が甲状腺機能亢進症です。バセドウ病とほぼ同じ意味です。グレブス病と呼ばれることもあります。



者さんのために

■主な症状は？

汗をかきやすい、疲れやすい、動悸、息切れ、手が震える、脈が早い、首が腫れる、食欲があるのに体重が減る、イライラする、眠れないなどです。

これらの症状は、甲状腺ホルモンが体内に多すぎて、新陳代謝が異常に高まったためにおこります。目がでたり(眼球突出)、まぶたがはれたりすることもあります。

症状の種類や程度には個人差があり、あまり症状のない場合もあります。

■放っておくと・・・

激しい運動をずっと続けているのと同じ状態であり、心臓や血管に負担がかかります。その結果として、脈が乱れたり血圧があがったりして、心臓のはたらきが悪くなる状態におちいります。

また、生理不順や骨粗鬆症をひきおこすことも知られています。



■さあ 治療を始めましょう・・・

甲状腺ホルモンの分泌をうまくコントロールすれば、健康なときと変わらない生活ができますし、スポーツや妊娠・出産も大丈夫です。治療方法は、薬物療法、アイソトープ療法、手術療法の3つが代表的です。

■3つの治療法

治療の目的は甲状腺ホルモンが過剰に作られないようにすることです。

- 薬物療法：甲状腺ホルモンの産生を抑えるクスリ(抗甲状腺薬など)を長期間服用します。
- アイソトープ療法：少量のアイソトープを含んだカプセルを1回服用して、放射線により甲状腺を小さくします。
- 手術療法：甲状腺を切除して小さくします。

	良いところ	良くないところ
薬物療法	<ul style="list-style-type: none">・薬をのむだけで手軽・甲状腺ホルモンが減りすぎるこ とがない	<ul style="list-style-type: none">・副作用がある・治療に長期間かかる・再発が多い
<ul style="list-style-type: none">・定期的に通院できる人、きちんと薬がのめる人、バセドウ病になってまもない人、甲状腺の腫れの小さい人はこの治療に適しています。・薬物療法の副作用に備えて、投与開始2カ月間は2週に1回それ以降も定期的に血液検査が必要です。		
アイソトープ療法	<ul style="list-style-type: none">・薬物療法よりも治療期間が短い・副作用がほとんどない・再発しにくい・外来でも治療可能	<ul style="list-style-type: none">・治療を受けられる施設が限られている・甲状腺ホルモンが減りすぎるこ とがある
<ul style="list-style-type: none">・副作用のため薬物療法ができない人、薬物療法で治りにくい人、早く治りたい人、定期的通院が困難な人はこの治療に適しています。・ただし、妊娠中はこの治療を受けることができません。		
手術療法	<ul style="list-style-type: none">・治療効果が確実・再発がもっとも少ない	<ul style="list-style-type: none">・手術の傷跡が残る・まれに声のかすれがおこる・専門外科医が限られている・甲状腺ホルモンの減りすぎが多い
<ul style="list-style-type: none">・副作用のため薬物療法ができない人、薬物療法で治りにくい人、早く治りたい人、定期的通院が困難な人はこの治療に適しています。		

■ 当院ではアイソトープによる治療が受けられます。

アイソトープ治療はカプセルを1回飲むだけの簡単な治療ですが、治療を受けるまでの検査や準備と治療後の家庭生活についてご注意いただく点があります。

- ☆ カプセルに含まれるアイソトープが効率よく甲状腺に集まって、十分な治療効果が現われるように「ヨウ素を含む食品の制限」が必要です。
- ☆ 家族や周囲の人々が無用な放射線被ばくをしないように注意事項を説明いたします。

	治療前	治療日	治療日以降
食事	ヨウ素を含む食品の制限		
検査	検査・採血 (投与するカプセルの数を決定)		
説明指導	帰宅後の過ごし方、注意等		
お薬	カプセルの服用		
診察		問診 (服用後の体調確認)	治療効果の確認 (月に1~2回)



担当の先生とよく相談して
自分にあった治療法を
選びましょう。

◆更に詳しい情報をお求めの方には、
次のようなパンフレットおよびウェブサイトをご覧ください。

- ヨウ素制限食について
「ヨウ素制限のコツ」 富士フィルムRIファーマ株式会社
- アイソトープ療法について
「バセドウ病のアイソトープ治療について — 患者さんのためのパンフレット」
甲状腺I-131内用療法シンポジウム組織委員会
- 甲状腺のアイソトープ療法についての情報サイト
<http://harecoco.net>

施設名: